



## アキバ系レトロニム

■ 桃井 はるこ



おかげさまで私が CD デビューしてから四半世紀が経ちました。あっ、この「CD デビュー」という言葉、「レトロニム」ですね。

「レトロニム」とは、昔からあるものに後発のものが現れ市民権を得ることによって、前からあったものの名前が変わることです。

たとえば携帯電話に対しての「固定電話」。そのような言葉に気づくと「未来を生きてるなあ」とゾクゾクします。鉄道を利用すると「紙きっぷ」「有人改札」といった文字に、子供のころ想像したロボット駅員たちが働くパターンにはならなかったかと、閑散とした改札口を見つめてしまいます。

レトロニムのコレクションが増えたときの妙な感覚、それが私の「アキバ系」のベースです。

「アキバ系」というとメイドさんやアイドル、アニメファンの集いといったイメージを持たれるかもしれませんが、そうなったのは 2005 年くらい。1977 年生まれで Apple II と同じ年の私が中学生のころメイド喫茶はまだなく、アニメショップも電気街にありませんでした。音楽が好きだった私は、新規格が次々に発表されるオーディオをチェックしたり、遠くのラジオを受信するためアンテナを試したり……気づけばパソコン通信にも足を踏み入れ、ジャンク屋でバイトもしました。

先日、万世橋近くのランドマークだった通称「肉ビル」が老朽化を理由に更地になりました。神田川沿いの湿った風に吹かれながら、私はまた、最初に曲作りを始めた少女のころのように、ここから新たな歌を作

■ 桃井 はるこ  
シンガーソングライター／声優

歌手、作詞作曲（楽曲提供）、声優など多才に活動する元祖アキバ系アーティスト。声優としての出演作は『シュタインズ・ゲート』（フェイリス・ニャンニャン）、『テイルズ・オブ・ジ・アビス』（アニス・タトリン）、『ポケットモンスター』（ソーナノ）、『妄想代理人』（マロミ）他。ライブパフォーマンスは個性的なヴォーカルによるパワフルな歌唱が持ち味で、アメリカ、ヨーロッパ、アジア、中南米など海外でのライブ活動は世界 30 都市を数える。JR 秋葉原駅前にある「モーイ時計」の名前は彼女の愛称が由来である。



ろうと思うのです。

私のソングライティングは楽しい作業ですが、完成までにかなりの集中力を要します。最近、作曲 AI のサービスを試してみてもその速さに驚きました。できあがりには少々支離滅裂なところが個性のようにも感じられ、でも、自分の曲を勝手にパクられたらいい気はしないなーと複雑な気持ちにもなりました。そこで思ったのは、今後は聴き手自らが「イイ！」と思える感覚、鑑賞する側の感覚を育むことが大切なんじゃないかということです。素養があつて自然にできちゃう人もいますが、音楽ってちょっとしたきっかけやコツがあるとさらに楽しめます。みんな普通に自転車に乗ってるけど、誰しも補助輪の時代があり、公園で乗る練習をした経験があるように。ファンの方の反響が私の生きがいで、今もまさにニューシングルの製作をしていますが、そのうちハイクオリティなレビューをする AI ファンによって「人生持ちアカウント」がおいでけぼりになる時代が来ませんように。

そんな妄想をするとまたゾクゾクしちゃうわけですが、私はやっぱり、ハイテクに囲まれた生活の諸行無常、そこで感じる執着やせつなさ、それでも生きていくひたむきさを歌いたいと思うのです。コンピュータ用語やそれっぽい単語が歌詞に入っていなくとも、根底にはそんなマインドが流れてるんです。

これからも人生の過程を楽しく作品にしていきたいと思います。1 人の「生身リスナー」の心に届くと信じて。